

第6節

「都市経営の視点に立った行財政運営」

多様化・高度化する市民ニーズに対して的確かつ迅速にこたえるため、効果的で効率的な行政運営を推進するとともに、財源の確保を図り、長期的な事業計画に基づき適正な財政運営に努めていきます。

さらに、近隣自治体との連携を高め、国、県、関係機関との強調も図りながら、市民、事業者、行政の強力なパートナーシップのもと、地方自治の確立に努めます。

～松戸市基本構想 施策の大綱～

政 策 23

～市民ニーズに基づく行政経営を行います～

後期基本計画に定める指標値「めざそう値」等一覧

【めざしたい将来像】

50万人になろうとする市民が、安心して住みやすく、満足してもらえるようなまちを実現します。そのため、継続的な対話を経た力強い連携から政策が生まれる仕組みづくりをし、経営基盤を強化します。

指 標		21年度	22年度	25年度	27年度 現状値	28年度 (注1)	32年度 (注2)
住み続けたいと 思う人の割合	めざそう値 (目標)	—	62%	62%	—	65%	65% (※)
	実績値	60.0%	61.4%	61.3%	66.5%		
行政サービスの 改善度	めざそう値 (目標)	—	—	29.4%	—	29.4%	35%
	実績値	26.8%	26.8% (H21)	20.0%	24.1%		
後期基本計画の めざそう値の達 成率	めざそう値 (目標)	—	—	100%	—	100%	100%
	実績値	—	—	39%	—		

指 標		21年度	22年度	25年度	27年度 現状値	28年度 (注1)	32年度 (注2)
行政情報入手手 段に係るホーム ページの割合	めざそう値 (目標)	—	—	18%	—	21%	25%
	実績値	14.4%	20.5%	18.5%	16.6%		
インターネットを 利用している人 の割合	めざそう値 (目標)	—	—	65%	—	67%	70%
	実績値	60.0%	68.0%	68.5%	68.7%		
いきいきと働くこ とができている職 員の割合	めざそう値 (目標)	—	—	55%	—	65%	60% (※)
	実績値	49.2%	49.2%	62.2%	67.2%		

(注1)平成28年度のめざそう値は、第5次実施計画でめざす目標値です。めざそう値(28年度)設定の考え方は、第5次実施計画に設定した「めざそう値」の指標解説によります。

(注2)平成32年度のめざそう値は、後期基本計画書に記載しているめざそう値を記入しております。その中で“(※)”の表記のあるものについては、第6次実施計画策定時に平成27年度の現状値などを踏まえ見直します。

政策23

市民ニーズに基づく行政経営を行います

1.市民ニーズ等を把握し、総合計画を策定します

1. 現況と課題

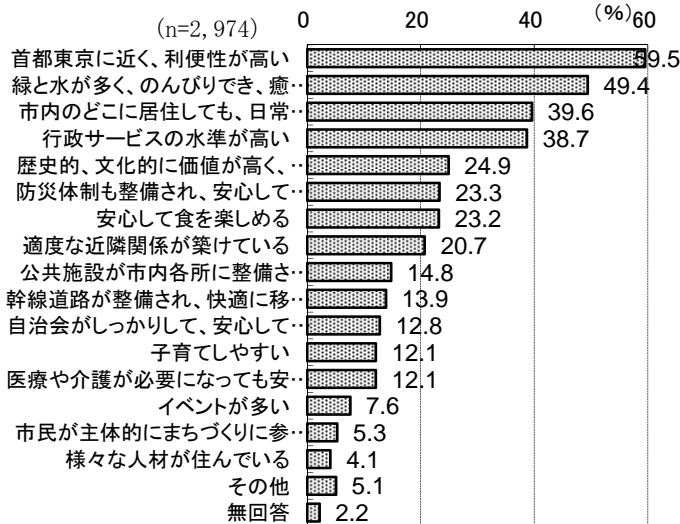
「後期基本計画づくりのための市民ニーズ調査（平成21年3月）」によれば、松戸市の良さベスト3は、「①首都東京に近く、利便性が高い」「②緑と水が多く、のんびりでき、癒される空間が多い」「③市内のどこに居住しても、日常生活の利便性が高い」です。また、まちづくりの方向性として望まれているのは、「①安心して医療が受けられる」「②緑花清流」「③バリアフリー」でした。

なお、急速な少子高齢化の進展、人口減少や公共施設の老朽化等により、各市それぞれの行政サービスや公共施設の考え方で維持することが難しくなっており、三大都市圏においては、市町村間で水平的、相互補完的、双務的に適切な役割分担について研究していくことが課題となっています。

【特筆すべきニーズの変化】

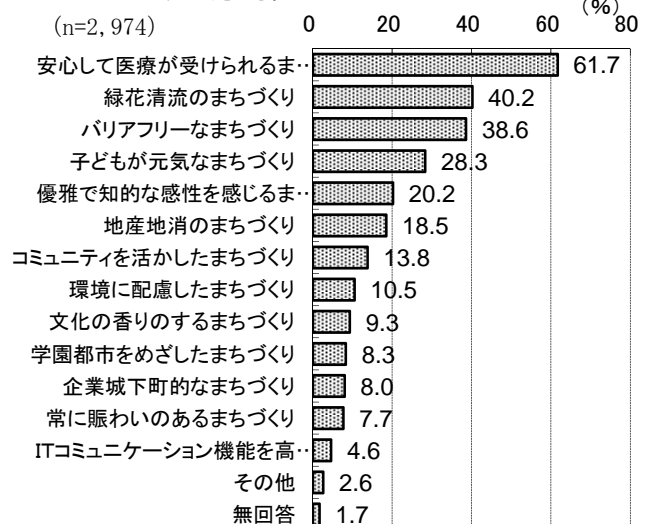
- ① 市民のニーズを的確に捉えるとともに、松戸市の良さ・強みを生かした行政サービスを提供していくことが求められています（ニーズの増）
- ② 経費節減や事業の見直しなどによる健全財政を確保しながら、必要な施策には積極的に投資するなど戦略的な行政経営が求められています（ニーズの増）
- ③ 地方分権による事務権限移譲を活用し、特色のある自立した都市となることが期待されています（ニーズの増）

●松戸市の良さ・強み



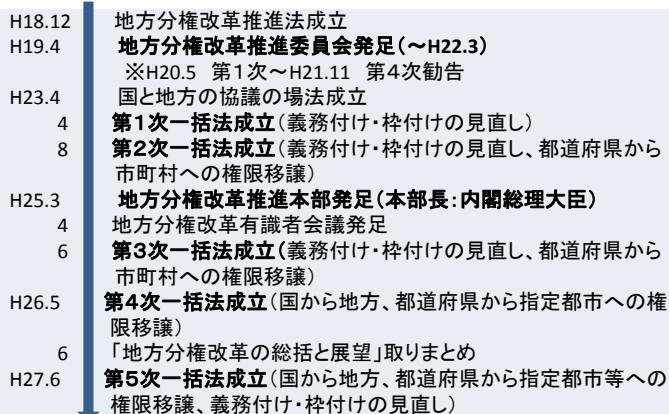
出典 松戸市総合計画後期基本計画づくりのための市民ニーズ調査

●まちづくりの方向性



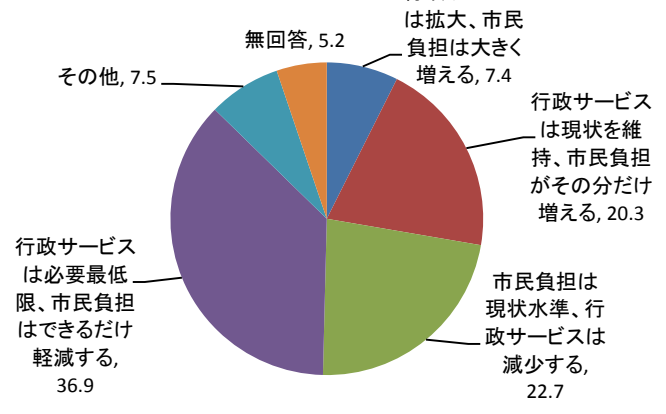
出典 松戸市総合計画後期基本計画づくりのための市民ニーズ調査

●地方分権の流れ(第2次分権改革)



出典 内閣府地方分権改革推進室作成資料をもとに作成

●行政サービスの提供について



出典 松戸市総合計画後期基本計画づくりのための市民ニーズ調査

2. 施策の展開方向

後期基本計画の実現のため、財政的な裏付けをもたせた短期的な事業計画としての実施計画を策定します。実施計画は、選択と集中を明確にした戦略的な計画とします。また、基本計画の評価は、政策展開の方向に示すめどその達成状況を中心に、適時、状況を把握し、評価していきます。実施計画については、計画事業以外の事業も含めて行政評価によりモニタリングを行い、計画期間満了後、達成状況を評価します。

なお、公共ニーズを充足する主体間の連携を高めるため、産学官で情報交換を行う場を設け、連携事業の可能性を検討していきます。

そして、地方分権改革の進展により、基礎自治体としての本市の役割は大きくなることから、その役割に見合った財政基盤の充実強化や広域的課題への取り組みについて、国・県へ要請していきます。また、広域行政については、引き続き、近隣市との連携や合併による政令指定都市移行などの研究を行い、広く議論するための情報を提供していきます。

3. 施策を推進していく上での課題

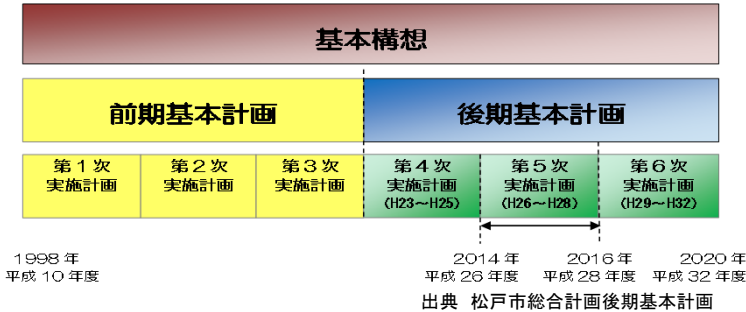
後期基本計画の最後の実施計画となる第6次実施計画の着実な推進に向けて、中期的な財政計画を踏まえた行政経営を進めていくことが課題です。また、平成27年度に策定した「松戸市人口ビジョン」を踏まえた新たな総合計画の検討が課題となります。

また、日本で56年ぶりに開催される「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会」を迎えるにあたって、本市は開催都市に近く、この大会を、次世代を担う子どもたちに夢や感動を与え、文化や教育、スポーツの発展と新たな文化を創造するチャンスとして、最大限に活用していくことが課題です。

【特筆すべき松戸の強み・弱み】

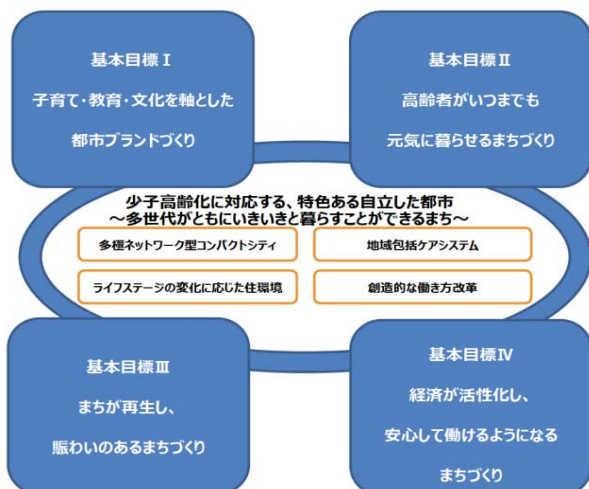
- ① 総合計画の策定、推進及び総合戦略の策定を通じて、行財政改革に基づく事務事業の見直しや、重要業績評価指標（KPI）を設定したPDCAサイクルの推進などのノウハウが蓄積されつつあります（強み）
- ② 市内に個性の異なる4つの大学があり、うち2大学と包括的な連携協定を締結しています（強み）
- ③ 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、市内4大学や有識者が参画する推進会議を設置するとともに松戸市の取組を位置づけた基本方針を策定しています（強み）

●松戸市総合計画の3層構造



●松戸市総合戦略(H27～H31)

松戸市の将来像と4つの基本目標



出典 政策推進課資料

●2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた大会成功とやさシティおもてなしシティ推進のための「基本方針」

○基本方針及び取り組み課題

- 1 感動を共有し、スポーツ文化の向上を図る
 - (1) スポーツの社会的価値を共有する
 - (2) 心豊かに生き生き暮らす社会づくりを進める
- 2 松戸の地域創生とブランド力の向上を進める
 - (1) 松戸市の活性化(経済・観光振興)を進める
 - (2) 松戸ブランド力の向上・国際化を進める
- 3 生きる力を育みグローバル人材を育成する
 - (1) 子どもたちの“生きる力”を育む
 - (2) 社会全体の成長につなげる
- 4 異文化交流により国際化を進めるおもてなし
 - (1) 文化と松戸の魅力を国際的にアピールする
 - (2) 国際社会での松戸市の存在感向上
- 5 やさシティ・おもてなしシティを推進する

出典 松戸市2020年東京オリンピック・パラリンピック推進本部資料から作成

政策23

市民ニーズに基づく行政経営を行います

2.行政活動を透明にします

1. 現況と課題

行政経営において、市民参加をより一層進めるためには、これまで以上にわかりやすくタイムリーな市政情報の公開・提供をし、信頼関係を築くことが重要です。

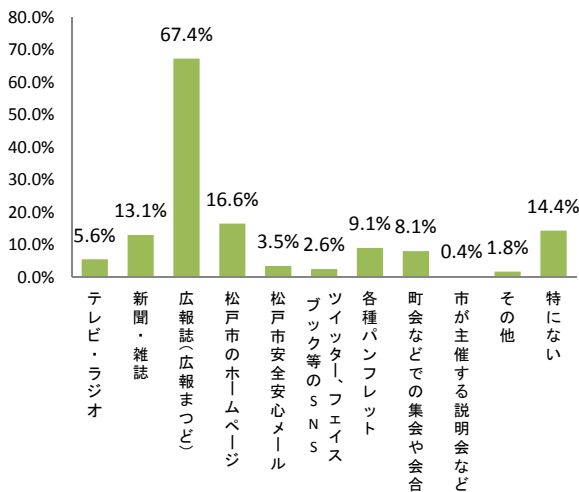
こうした中、本市では、広報紙の発行に加え、ホームページの開設、パートナー講座（出前）の開催など、わかりやすい情報提供をこころがけ、また、情報公開制度の整備、パブリックコメント手続の導入等の制度の充実を図ってきました。なお、パブリックコメントの実施件数は、平成26年度において13件になっています。

また、個人情報保護については、市民の重要な情報を預かる機関としての責任を果たすため、情報の流通や管理の形態の変化に合わせた対策づくりをしていく必要があります。

【特筆すべきニーズの変化】

- ① 市政への参加を望む市民は、市の政策を検討するための基礎となる情報が入手しやすくなることを望んでいます（ニーズの増）
- ② 自治体の持つ個人情報を、適正に取り扱うことが求められています（ニーズの増）

●行政情報の入手経路



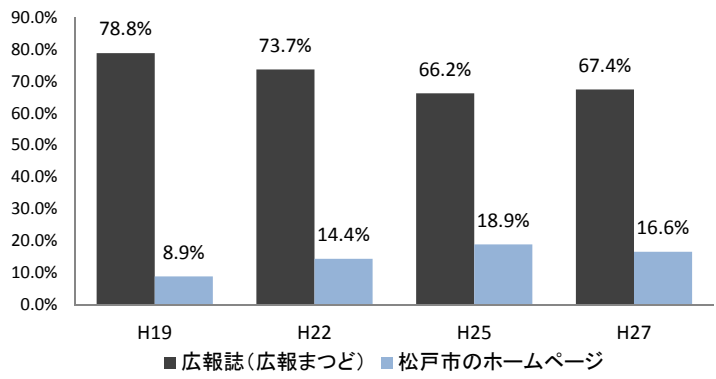
出典 松戸市市民意識調査(平成27年度)

●情報公開制度の利用状況(実施機関別)

	H22	H23	H24	H25	H26
市長	161	173	210	238	189
教育委員会	2	13	11	16	8
選挙管理委員会		1		2	
公平委員会					
監査委員					
農業委員会	1				
固定資産評価審査委員会				1	
水道事業管理者	2	2	1	5	2
病院事業管理者	1	1	3	2	3
消防長	1	7	9	6	10
議会	2	1	10	9	4
合計	170	198	244	279	216

出典 総務課情報公開担当室資料

●行政情報の入手経路



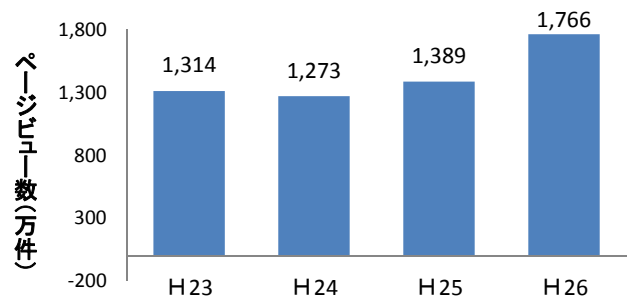
出典 松戸市市民意識調査(平成27年度)

●個人情報保護制度の利用状況(処理状況別)

	H22	H23	H24	H25	H26
開示決定	20	17	16	15	19
一部開示決定	17	14	30	29	27
非開示決定(不存在含)	14	11	15	4	2
取下げ	6	3	3	5	1
合計	57	45	64	53	49

出典 総務課情報公開担当室資料

●松戸市公式ホームページのページビュー数の推移



出典 広報広聴課資料

2. 施策の展開方向

本市の活動状況をわかりやすく伝え、市民と行政の信頼関係を構築するため、広報まつどを定期的に発行するとともに、ホームページなどのインターネット技術を使っての情報提供を適時、行っていきます。また、市職員が出前で市政情報をお伝えするパートナー講座（出前）の充実や、よりわかりやすい説明になるよう工夫していきます。

また、情報公開制度を適切に運用し、透明性を確保するとともに、行政資料センターの情報内容の向上を図っていきます。

さらに、重要な政策の形成にあたっては、パブリックコメント制度をはじめ、市民会議などを適切に活用し、市民意見を的確に募集し、政策に反映するようにします。

3. 施策を推進していく上での課題

広聴分野との連携、一体化により、市民ニーズを反映した広報や政策づくりを推進しています。これまでも市からの情報を様々な手段で発信していますが、市民と行政が松戸市に関する情報や知識を共有できる仕組みをさらに構築していく必要があります。

また、シティプロモーション（松戸の魅力発信）を推進し、本市の施策や魅力をより多くの人に伝えることが必要です。

【特筆すべき松戸の強み・弱み】

- ① 情報公開、情報提供、意見募集に関してのツールや制度が充実しています（強み）
- ② 松戸の魅力を発信するための専門的な部署を持っています（強み）

●主なパートナー講座(出前)の開催状況 (参加人数上位5番目まで、平成14年度(導入年度)・平成26年度)

参加人数 順位	担当 課名	平成14年度			担当 課名	平成26年度		
		講座名	開催 回数	人数		講座名	開催 回数	人数
1	介護支援課	介護保険について	17回	530人	高齢者支援課	認知症サポーター養成講座	64回	1,582人
2	保健福祉課	健康について	8回	290人	危機管理課	地震災害に対する備え	34回	1,223人
3	環境計画課	ごみとリサイクルについて	10回	286人	介護保険課	高齢者の生活を支える介護・福祉制度について	25回	1,039人
4	こども課	少年非行と家庭教育	4回	189人	福祉医療センター 東松戸病院保健 福祉医療局保健 福祉医療室	元気に長生き健康寿命を目指して～いつまでも自分の脚で歩けるように～	19回	640人
5	救急防災課	火災原因別火災予防対策	3回	107人	市民安全課	地域の防犯対策について	12回	344人

出典 広報広聴課資料

●パブリックコメント実施一覧

意見募集年度	政策案の件数	意見提出者総数	意見総件数
H24	5件 (仮称)松戸市放射能対策総合計画ほか4件	85人	441件
H25	5件 松戸市子ども・子育て会議ほか4件	32人	163件
H26	13件 松戸市火災予防条例の一部を改正する条例ほか12件	206人	598件

出典 広報広聴課広聴担当室資料

●各市SNSの登録者 2016.1.8調べ

	松戸	船橋	市川	柏
twitter (フォロワー)	25,287	9,372	10,825	21,380
Facebook (いいね!)	2,431	2,017	6,174	1,679

出典 各市の開設ページ

●動画を活用した情報提供

松戸市	市公式ホームページにて「動画サイトまっちゃんねる」を運営
船橋市	2つのYouTubeチャンネル「船橋市広報課 YouTubeチャンネル」「船橋観光PRドラマ『船橋市役所特案係』YouTubeチャンネル」を運営
市川市	市公式ホームページにて「HBSいちかわインターネット放送局」を運営
柏市	YouTubeチャンネル「柏市公式PRチャンネル」を運営

出典 各市ホームページ

●定例記者会見の公表状況

松戸	公表なし
船橋	会見項目とその概要をホームページで公表
市川	会見項目とその概要をホームページで公表
柏	会見資料をホームページで公表

出典 各市ホームページ

●デジタルサイネージ(都内の駅で実施)



出典 広報広聴課シティプロモーション担当室資料

政策23

市民ニーズに基づく行政経営を行います

3.人材や情報システムを活用し、生産性の向上を図ります

1. 現況と課題

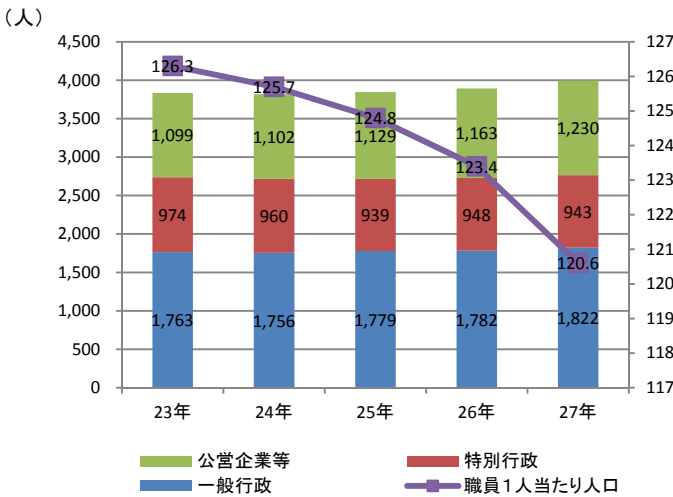
行政経営の生産性をはかる指標の1つに、職員1人当たりの人口があります。公営企業を除き比較すると、本市は近隣市よりも少ない職員数でサービスを提供しています。しかし、平成18年に「行政改革推進法」が制定されるなど、更なる改革が望まれています。

また、情報システムについては、業務の効率性を向上させる目的で、住民基本台帳をはじめとする基幹系システムの整備、情報系ネットワークの整備などを行ってきました。一方、近年のICT革命においては、行政の効率を高めることだけでなく、住民生活が直接便利になるようなICT活用も期待されています。

【特筆すべきニーズの変化】

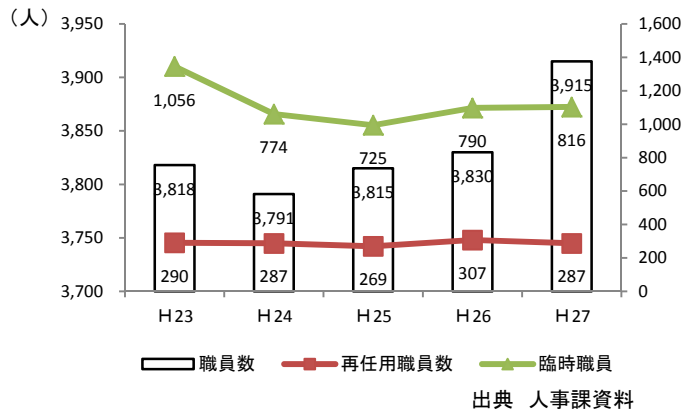
- ① 手軽に、便利に行政サービスを利用できるようにすることが望まれています（ニーズの増）
- ② できるだけ少ない職員で、一定の行政サービス水準を達成することが望まれています（ニーズの増）

●職員数と職員1人当たりの人口(各年4月1日現在)



出典 行政経営課資料

●職員数と再任用職員数・臨時職員数(各年4月1日現在)



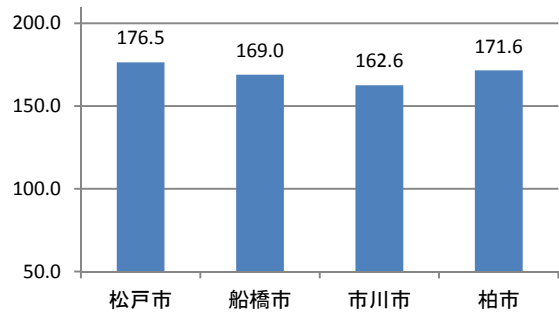
出典 人事課資料

●職員数と職員1人当たりの人口(平成27年4月1日現在)

	一般行政		特別行政		一般・特別行政計		公営企業等		合計	
	職員数(人)	職員1人当たりの人口(人)	職員数(人)	職員1人当たりの人口(人)	職員数(人)	職員1人当たりの人口(人)	職員数(人)	職員1人当たりの人口(人)	職員数(人)	職員1人当たりの人口(人)
松戸市	1,822	267.8	943	517.4	2,765	176.5	1,230	396.7	3,995	122.1
船橋市	2,529	246.9	1,166	535.5	3,695	169.0	1,000	624.4	4,459	140.0
市川市	2,021	234.7	897	528.8	2,918	162.6	319	1487.0	3,237	146.5
柏市	1,646	248.8	740	553.3	2,386	171.6	219	1869.6	2,623	156.1

出典 行政経営課資料

●一般・特別行政職員1人当たりの人口



出典 行政経営課資料

●よくある質問(FAQ)ホームページ



出典 松戸市FAQ検索サイト

2. 施策の展開方向

地方分権政策が推進されているなか、より一層、地方自治体の「自己決定・自己責任の原則」が徹底され、経営責任が問われる時代となります。多様化する行政需要に、より少ない職員数で、効率的に対応するため、行政評価などを通して、事務事業を点検します。そして、民間事業者を活用したり、市民との役割分担を見直すなかで、行政が行うべき事業を選択し、経営資源の集中を図ります。

また、組織機構については、行政需要に柔軟に対応し、市民にわかりやすく、的確に市民に向き合えるように見直しを図ります。

複雑化、高度化した様々な課題に対応できる高度な知識・能力を備えた人材の育成をめざします。特に、今後の施策展開にあたっては、市民と行政が協働して推進する場面が増えていくことから、わかりやすい説明ができ、様々な場面で話し合いを行う上で必要なノウハウをもった職員を増やします。また、新しい公共経営を担えるマネジメント能力をもった幹部職員を育成します。

本市情報システムは、これまで「情報システム最適化計画」などに則り、その整備と構築に努めてきましたが、日々進化するICTに対して、常に敏感に適応する必要があります。そのため、新たな情報政策の全体計画を整備し、行政情報の電子的な提供を図るなど、電子的な市民サービスを向上するとともに、行政内部の事務のより一層の効率化を推進していきます。また、情報システムの運用については、地域情報プラットフォームの導入や、外部情報資産の活用なども視野に入れ、効率化を図ります。

3. 施策を推進していく上での課題

簡素で効率的・効果的な行政体制の整備を積極的に進めながら、政策立案能力を高め、戦略的に執行できる体制を構築し、多様化した行政需要に対応できる高度な知識・能力を備えた職員の人材育成が課題となっています。

行政情報の電子的な提供については、従来の提供方法以外に、利用者が情報を利活用できるための環境整備が課題といえます。

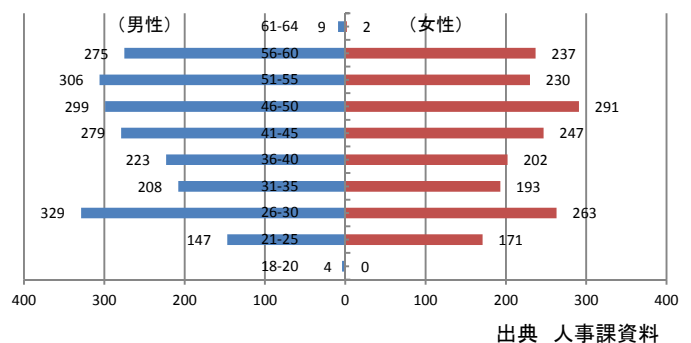
【特筆すべき松戸の強み・弱み】

- ① 情報システムを活用した業務効率化の実績があります（強み）
- ② 職員の年齢構成が歪み、経験やノウハウを持つ職員が少なくなることが懸念されます（弱み）

●インターネットでできる主なサービス

- ・施設予約(森のホール21)(平成13年度～)
- ・例規集検索(平成14年度～)
- ・市議会会議録検索(平成14年度～)
- ・インターネットアンケート(平成15年度～)
- ・申請書等ダウンロード(平成16年度～)
- ・図書館蔵書検索・予約(平成16年度～)
- ・インターネット議会中継(平成17年度～)
- ・電子入札(平成18年度～)
- ・インターネット公売(平成19年度～)
- ・マルチペイメント(平成20年度～)
- ・電子申告(平成20年度～)
- ・電子申請(平成21年度～)
- ・施設予約(スポーツ施設・市民センター等)(平成21年度～)
- ・SNSによる情報提供(平成23年度～)
- ・地図情報提供サービス(平成24年度～)

●年齢階層別職員数(平成27年4月1日現在)



●職員研修参加状況

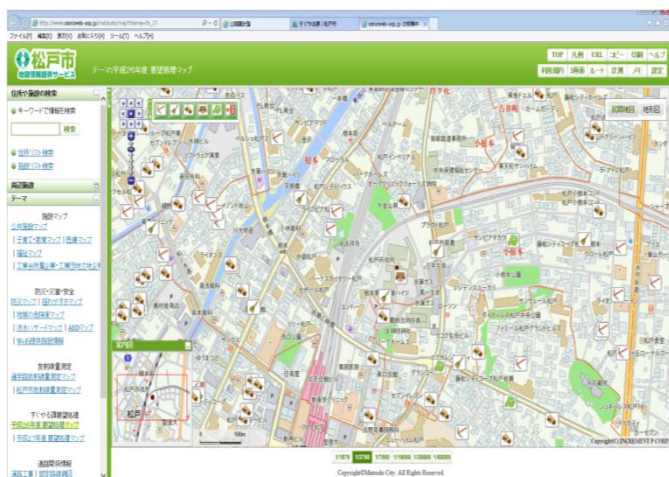
区分	研修内容	H22	H23	H24	H25	H26
基本研修	役職及び勤務年数等に応じた基本的な知識・技能の習得	811	773	959	1,073	931
特別研修	特定の行政課題に対応するために必要な知識・技能の習得	1,146	909	1,301	1,101	1,901
実務研修	実務遂行に必要な知識・技能の習得	299	420	608	363	470
派遣研修	職務の専門的かつ総合的な知識・技能の習得のための専門機関への派遣	340	364	317	288	356
合計		2,596	2,466	3,185	2,825	3,658

●主な委託実施済項目

- ・尿収集業務
- ・庁舎清掃・夜間警備業務
- ・学校給食調理業務
- ・広報誌編集業務
- ・郵便(文書集配)業務
- ・庁舎案内・電話交換業務
- ・公用車運転業務
- ・職員厚生業務
- ・公立保育所運営委託
- ・雇用促進事業 若者就労支援業務

●主な指定管理者制度導入施設

- ・市民センター(17箇所)
- ・勤労会館
- ・小金原体育館等体育施設(9箇所)
- ・自転車駐車場(52箇所)
- ・文化会館
- ・市民劇場
- ・北山会館(斎場)業務
- ・まつど市民活動サポートセンター



出典 情報政策課資料 表=松戸市ホームページ

出典 松戸市集中改革プラン等をもとに行政経営課作成